

放送ストリーミング情報収載

## 放送ストリーミング情報【2024No.338】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：アントン・ブルックナー

曲名：交響曲へ短調

演奏：クリスティアン・ティーレマン指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55060>

2024年3月3日ベルリンフィル大ホールでの演奏です。



ティーレマンが知られざるブルックナー初期作品を指揮

ブルックナー解釈で高い評価を受けているクリスティアン・ティーレマンが今回指揮するのは、この作曲家の知られざる2つの交響曲です。交響曲へ短調はブルックナーが交響曲というジャンルで初めて取り組んだ作品で、作曲家自身は「学校での課題」に過ぎないと言いましたが、活気とロマンティックな暖かみが魅力的な交響曲です。「交響曲第0番」では、ブルックナーの個人様式が形成されていった様子を興味深く垣間見ることができるでしょう。ブルックナーの自己探究ともいえるこの2作品を巡る旅を、経験豊かなティーレマンの指揮でお楽しみください。

以上の他に下記が演奏されました。

アントン・ブルックナー 交響曲ニ短調

ブルックナー初期作品の交響曲へ短調と交響曲ニ短調の、ブルックナーを得意とするティーレマンの指揮による演奏です。

交響曲へ短調は、これまで聴いてきたブルックナーとは、一味違った爽やかな古典派のような表情で展開されます。

交響曲ニ短調は、ほぼへ短調と同様の印象ですが、ややドラマティックな表情も時折みせています。

ともにティールマンの端正な指揮の下、やや地味な味わいの曲が、淡々と進行します。

CD クリーナーの効果(9)の PC 再生系への適用として、PC の液晶画面、2 個の LAN iSilencer およびルーターの筐体への CD クリーナーの効果が持続しているようで、ブルックナーの初期の交響曲の地味ながら爽やかな表情が汲み取れました。



以上